

## 【泉区】平成 30 年第 2 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	30 年 6 月 1 日（金） 午後 16 時 00 分 ～ 午後 17 時 20 分
場 所	泉区総合庁舎 4 階 消防署会議室
出席者	<p>【座 長】横山 勇太朗 議員</p> <p>【議 員：3 人】梶村 充 議員、源波 正保 議員 麓 理恵 議員</p> <p>【泉 区：41 人】額田 樹子 区長、高橋 寛 副区長、 松浦 淳 福祉保健センター長、 中村 拓 福祉保健センター担当部長 山根 好行 土木事務所長 森田 清 泉消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 30 年度泉区個性ある区づくり推進費執行計画について</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 平成 30 年度泉区運営方針について</p> <p>(2) 泉区版地域包括ケアシステム行動指針の策定について</p> <p>(3) 横浜市松風学園の施設改修及び新入所施設の整備について</p> <p>(4) 泉区地域分析結果の報告について</p> <p>(5) その他</p>
発言の 要 旨	<p>1 平成 30 年度泉区個性ある区づくり推進費執行計画について</p> <p>麓議員：泉区災害対策本部運営訓練について、関係機関との連携の状況について、これまでとの相違点を具体的に教えてほしい。</p> <p>千田総務課長：これまで、泉区災害対策本部運営訓練は警察・消防等の行政機関との間で行っていましたが、今年 1 月、初めて、緑園東小学校地域防災拠点、緑園の町の防災組織、泉区災害ボランティア連絡会に参加いただき、地域とも連携した訓練を行いました。9 月は、参加いただく地域防災拠点や町の防災組織などをさらに増やして実施していきます。</p> <p>麓議員：新たに訓練に参加する関係機関はどのようなところを想定しているのか。</p>

千田総務課長：現在、まだ具体的な機関と話を詰めている段階ではありませんが、関係機関の一つとして、医療機関や障害者施設なども想定しています。区役所では、各課が災害時に班を組んで対応にあたることとしており、例えば、医療調整班（福祉保健課）は医療機関、援護班（高齢・障害支援課）は関係施設などと日頃から災害時の対応について調整を行っています。各班が関係する機関との連携を経験できるように訓練参加者の調整を進めてまいります。

麓議員：関係機関との連携は非常に重要。前回の会議の際、区内で一斉に訓練を実施していくことが必要という話をしたが、連携の重要性を各地域にもご理解いただき、より多くの地域の皆さんが参加して区役所とつながった訓練となることを期待している。実施内容が具体化してきたら事前に教えてもらいたい。

麓議員：泉区内の待機児童について、現在の保留児童の数はどれくらいか。

木下学校連携・こども担当課長：保育所に入所の申込をした結果、入所できなかった方を「保留児童」としていますが、泉区の保留児童の数は、4月1日現在で59名です。

麓議員：泉区内の認可保育園で、定員に満たなかった数はどれくらいか。

木下学校連携・こども担当課長：定員割れについては、4月1日現在で、108名となっています。定員割れは、0歳児、4・5歳児で多く生じています。

麓議員：平成31年度には認定こども園に移行していく園もあるが、定員割れが経営に影響を与えるのではないかという懸念がある。一方で、定員超過の区もある。近隣区やこども青少年局との相談・調整を行っているのか。

木下学校連携・こども担当課長：一定の時点毎に入所の調整を行っているため、定員割れの数には変動があります。子どもが0歳の時は育児休業を取り、1歳になってから入所を希望されるという傾向が見られます。また、4・5歳児では、幼稚園の方を選択される場合もあります。そのため、定員構成を見直していくという対応も必要かと考えます。市全体としても定員割れへの対策を検討していると聞いています。区としても年間を通じて調整を行い、保育を必要とされる方により丁寧に対応していきたいと考えています。

麓議員：既に保育所の定員を減らすことを市として認めている所もあると聞いている。周辺区等の状況を把握して、引き続き待機児童ゼロを維持するとともに、保育所の経営にも問題が生じないよう対応していただきたいと思います。

麓議員：市として、地域ケアプラザは各中学校区に1か所設置をめざし、泉区においては、平成31年度の開館に向けて岡津地域ケアプラザの整備を進めているが、将来的に中学校が緑園に1校増えた場合、その校区にも整備していくのか。

椎葉福祉保健課長：地域から様々なご要望が出ていると聞いていますが、現在の市の計画においては、泉区内の地域ケアプラザの整備は岡津地域ケアプラザで終了となります。

麓議員：市の現行計画は分かった。今後、緑園地域だけでなく、他の地域も含めて色々なご意見が出てくることもあると思うので、健康福祉局とも話をしていきたいと考えている。

梶村議員：市民から不妊治療への支援が他市と比較して手薄なのではないかという意見が聞かれるが、どのような支援制度があるのか。

山崎こども家庭支援課長：不妊治療への支援としては、今、この場で件数等の詳細データはないのですが、助成金の交付制度があります。

梶村議員：助成金も自治体によって差異があると思うので、そこも含めて詳細を調べて報告してもらいたい。

梶村議員：幼児教育の無償化などが話題になっているが、そういった情報をいち早く収集し、市民に周知してもらいたい。区をあげて子育てしやすく住み続けたい泉区をつくっていくのであれば、そういった効果的な情報の提供等に気をつけていただきたいと思います。

梶村議員：権太坂和泉線の整備について、上飯田に中田・中川から行くのに便利になったが、その効果の検証をもらいたい。

洞澤泉土木副所長：効果について、どのようなアピールができるか道路局と調整しています。区役所前の道路の交通量の減少を分析し、夏頃には公表していきたいと考えています。

梶村議員：消防署の救急車の出動等にあたり、混雑による支障がなくなるなど、一定の効果があると思う。また、上飯田は団地があり、交通の混雑緩和は地域に利するところがあると思う。引き続き、整備を進めていってほしい。

梶村議員：昨今、高齢者の運転する車の事故を受けて、運転免許証の返納について報道されており、警察が主導で進めていくことだが、区としてもサポートしてしてほしい。免許返納後は、公共交通機関が周辺にないなどの問題が出てくると思うが、そのような問題も、検討項目としてあげてもらおうとよいと思う。

梶村議員：ガーデンシティ事業の全市展開について、泉区でも立場駅前や区役所前において、環境創造局とも相談しながら継続して実施してほしい。

## 2 その他

(1) 平成 30 年度泉区運営方針について

(質疑なし)

(2) 泉区版地域包括ケアシステム行動指針の策定について

(質疑なし)

(3) 横浜市松風学園の施設改修及び新入所施設の整備について

梶村議員：現在の定員数は 94 名だが、建物の改修・個室化によって、現在の建物の定員数はどれくらい減少になるのか。

安達松風学園長：現在の整備計画は青写真段階のため、具体的な減少数まではまだ出ていません。

梶村議員：民施設部分の入所定員数もまだ決まっていないのか。

安達松風学園長：定員数 94 名を公設と民設の両方で維持していくという考え方になります。

梶村議員：地域交流の催しで、グラウンドを駐車場として使わせてもらっているが、民設に移行すると地域の方が車で来やすい環境ではなくなるのではないかと。場所がら、駐車場がないと不便で、地域交流を維持していくためにも、必要に応じて臨時駐車場を借りるなど、駐車場問題は解決してほしい。

安達松風学園長：松風学園は開設から 58 年を迎え、地域交流も今まで取り組んできた実績があります。車で来やすい環境も地域交流を進める一助となっていたため、その観点を持ちながら設計を進めていきます。

梶村議員：公設と民設とのそれぞれの施設間はどうのように調整を図っていくのか。

安達松風学園長：松風の敷地内で、それぞれが今後担っていくべき機能について、外部の有識者も入れながら基本構想の中にまとめていきたいと考えています。

麓委員：県の福祉施設「津久井やまゆり園」の事件からもうすぐ 2 年たち、横浜市も事件を受けて防犯対策の予算をつけてきたが、松風学園の建物を見ると、住居部分の防犯面においては、全体的に見直す必要があると思う。整備計画では防犯対策の強化も含まれるため、今後十分な検討がなされると思う。改修対象には、居住棟だけでなく管理棟や宿泊訓練棟などの他の施設も含まれるのか。

安達松風学園長：利用者が使用されている居住棟の改修がメインとなりますが、空調設備等の老朽化した設備については、あわせて改修を行っていきます。

麓議員：居住棟につながる部分については改修するが、それ以外の施設は改修対象に含まれていないということか。

安達松風学園長：限られた事業予算内で実施するため、優先順位付けが必要となり、改修は行いたいがどうしても後に回さざるを得ない部分があります。

麓議員：かなり長い間入所されている方が多い施設だと聞いている。生活全般を支えるという意味で、まずは居住棟の改修を先にとということだと思う。これからの進捗について、利用者の方の状況も含め、逐次報告してもらいたい。防犯対策も一番において、よい建物にしてほしい。

安達松風学園長：進捗状況については、地域の方々も関心が高いため、適宜広報していきます。地域の皆様の理解を得ながら再整備を進めていきたいと考えています。

#### (4) 泉区地域分析結果の報告について

横山議員：報告書には、緑園の北北西辺りにある池の谷自治会がないがなぜか。

	栗竹地域力推進担当課長：連合未加入のため報告書には反映されていません。
備 考	